

令和3年度「ユーサ浅虫」に係る事業報告書等評価結果

ユーサ浅虫については、（一財）青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和3年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和4年7月19日

施設名	ユーサ浅虫
設置目的	観光・レクリエーションなどの余暇活動の場を提供することにより、本市の観光及び地域振興を図り、併せて市民の健康の増進に資することを目的とします。
所在地	青森市大字浅虫字蛸谷341-19
指定管理者	【名称】一般財団法人 青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 能代谷 潤治 【住所】青森市雲谷字梨野木63番地
指定期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	ユーサ浅虫の管理については、道の駅ユーサ浅虫管理運営業務仕様書に基づき、職員の配置や施設の点検・管理（一部再委託）を適切に実施している。 危機管理マニュアルを整備した上で、通報連絡・消火・避難誘導訓練を実施しており、地震・火災などの各種災害に備えている。また、災害時の避難場所として開設要請のあった際に対応できる体制（毛布・防災無線など）を整えている。 個人情報の保護については、施錠できるキャビネットなどを活用し管理を徹底している。資源保護に努めることにより環境へも配慮している。 産直施設での地場産品の販売・敷地内及び施設周辺の清掃等を通じ、地域や関係団体との交流・連携を図っている。	○	
運営について	ユーサ浅虫の運営については、道の駅ユーサ浅虫管理運営業務仕様書に基づき、道の駅の機能である「休憩機能」「情報発信機能」「地域との連携機能」に関する運営に加え、公衆浴場や会議室などを適正に運営している。 また、利用者の利便性向上のための情報提供としてパンフレット等の充実やホームページを活用し、工夫しながら効果的に誘客事業を実施している。	○	
事業実施結果について	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった自主事業はあるものの、感染拡大防止対策を実施しながら、ゆーさお盆の市や21周年祭（誕生祭、感謝祭）、お買得特別企画の実施、広域事業として弘前市相馬地区のりんご販売会を開催し地元住民や来館者へのサービス向上と県産品のPRを通して、地域振興に貢献している。 また、施設の効果的な利用として美術展示ギャラリーを活用した企画展の誘致等を積極的に行い、集客を図っている。	○	
収支決算書について	職員の創意工夫による事業収益の増加に努めながら、利用客からの意見に対してもミーティングを行い迅速に対応している。積極的な経費の削減に取り組んでおり、適正に処理されているといえる。	○	

【総合評価】

管理運営、事業実施、収支決算について、適正に実施されている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、9/1～9/30と1/24～2/28まで、ゆーさ市場を除いて休館となったほか、計画していた事業の縮小や中止により道の駅の利用者数は減少し、それに伴い産地直売、物販の売上も減少した。しかしながら、自主事業イベントの開催や美術展示ギャラリーの活用、地場産品を主とした産直施設の品揃えに努めるなど、積極的な誘客を図るとともに、地域イベントへの参加、広域事業等を通して、地域住民や地元団体と連携しながら観光と地域振興の促進に努めている。

利用再開後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応として、類似施設におけるガイドラインを準用した対策を講じる等、利用者の安心・安全に万全を期していただいているが、新年度も引き続き対応いただくとともに、スタッフの健康管理にも十分に留意されたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市経済部観光課

【電話】 017-734-5153

【メール】 kanko@city.aomori.aomori.jp